

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 8 巻第 46 号

第 46 週(11月10日～11月16日)

発行年月日:平成20年(2008年)11月20日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

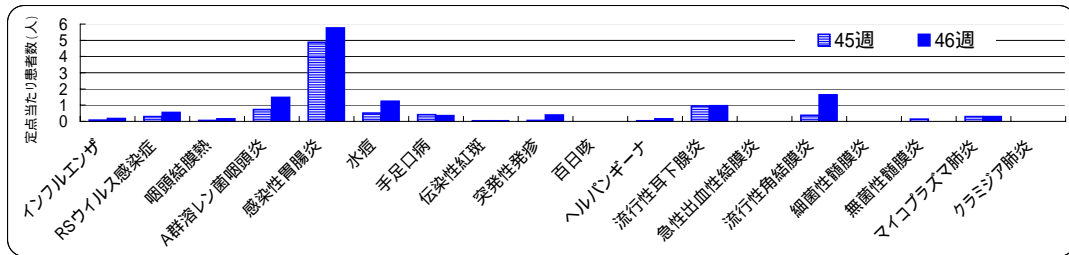
流行性角結膜炎の発生は草津保健所管内で急増 感染性胃腸炎は増加傾向

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数よりかなり多くなっています。今週はRSウイルス感染症、感染性胃腸炎等大部分の疾患で増加し、減少した疾患は手足口病および無菌性髄膜炎です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

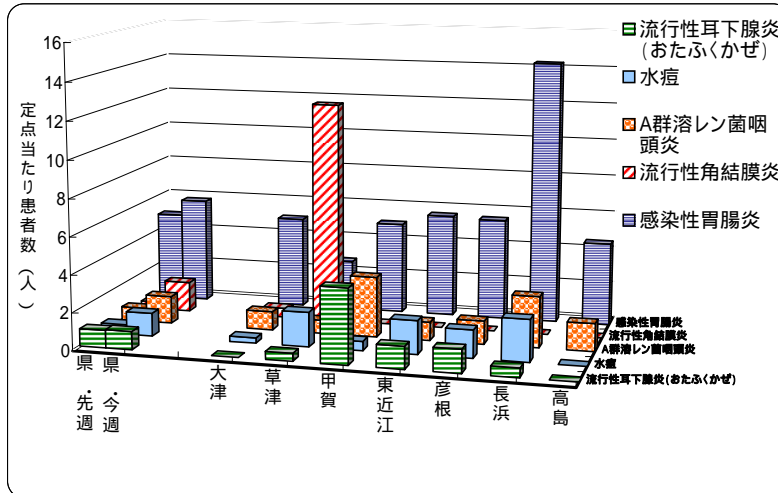
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報および注意報の発生状況は、流行性角結膜炎では草津で警報発生基準値(開始基準値 8.0)を、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)では甲賀で注意報発生基準値(開始基準値 3.0)を超えています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で2名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)



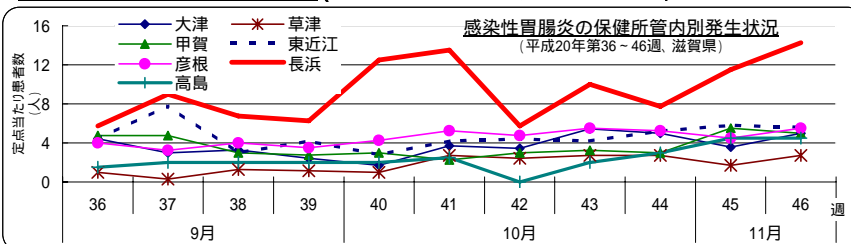
上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第46週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、流行性角結膜炎、A群溶レン菌咽頭炎、水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は長浜で先週よりさらに多くなっています。流行性角結膜炎は草津で、流行性耳下腺炎は甲賀で多くなっています。

感染性胃腸炎の発生状況(平成20年第36～46週、H20.9.1～11.16)



感染性胃腸炎の第36週以降の発生状況は左記のグラフに示すとおりです。長浜保健所管内では、他の保健所管内よりかなり多く発生しています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいますが、届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (46週)	累積報告数		平成19年報告数	
			滋賀 (46週)	全国 (46週)	滋賀	全国 ^(*)1)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	2	245	24,128	178	20,151
三類感染症	細菌性赤痢	0	2	275	^(*)2) 2	450
	腸管出血性大腸菌感染症	0	51	4,090	55	4,586
	パラチフス	0	0	25	1	22
四類感染症	E型肝炎	0	0	40	1	54
	A型肝炎	0	3	156	1	154
	コクシジオイデス症	0	1	2	0	3
	デング熱	0	2	94	1	89
	マラリア	0	1	49	1	52
	レジオネラ症	0	9	789	8	655
五類感染症	アメーバ赤痢	0	9	747	15	781
	ウイルス性肝炎	0	5	209	2	231
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	134	4	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	103	1	96
	後天性免疫不全症候群	0	11	1,355	9	1,449
	ジアルジア症	0	1	68	1	56
	梅毒	0	2	720	2	714
	破傷風	0	5	112	0	88
	急性脳炎	0	1	163	2	216
	風しん ^(*)3)	0	2	286	-	-
	麻しん ^(*)3)	0	39	10,921	-	-

* 1: 平成19年の全国報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

* 3: 平成20年1月1日から全数把握対象疾患に変更。 - ; 定点把握対象疾患のため、全数報告数は未集計

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第46週(11/10~11/16) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核	302例	三類感染症: 細菌性赤痢	3例	腸管出血性大腸菌感染症	54例	四類感染症: E型肝炎	1例	A型肝炎	1例	オウム病	1例	つつが虫病	33例	四類感染症: デング熱	1例	日本紅斑熱	3例	レジオネラ症	12例	レプトスピラ症	2例	五類感染症: アメーバ赤痢	18例	ウイルス性肝炎	1例	梅毒	6例	破傷風	4例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群	12例	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	急性脳炎	1例	風しん	1例	麻しん	15例
-------------	-----------	------	--------------	----	-------------	-----	-------------	----	------	----	------	----	-------	-----	-------------	----	-------	----	--------	-----	---------	----	---------------	-----	---------	----	----	----	-----	----	-------------------	-----	-------------	----	---------------	----	----------------	----	------	----	-----	----	-----	-----

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成20年第41~46週、10/6~11/16)

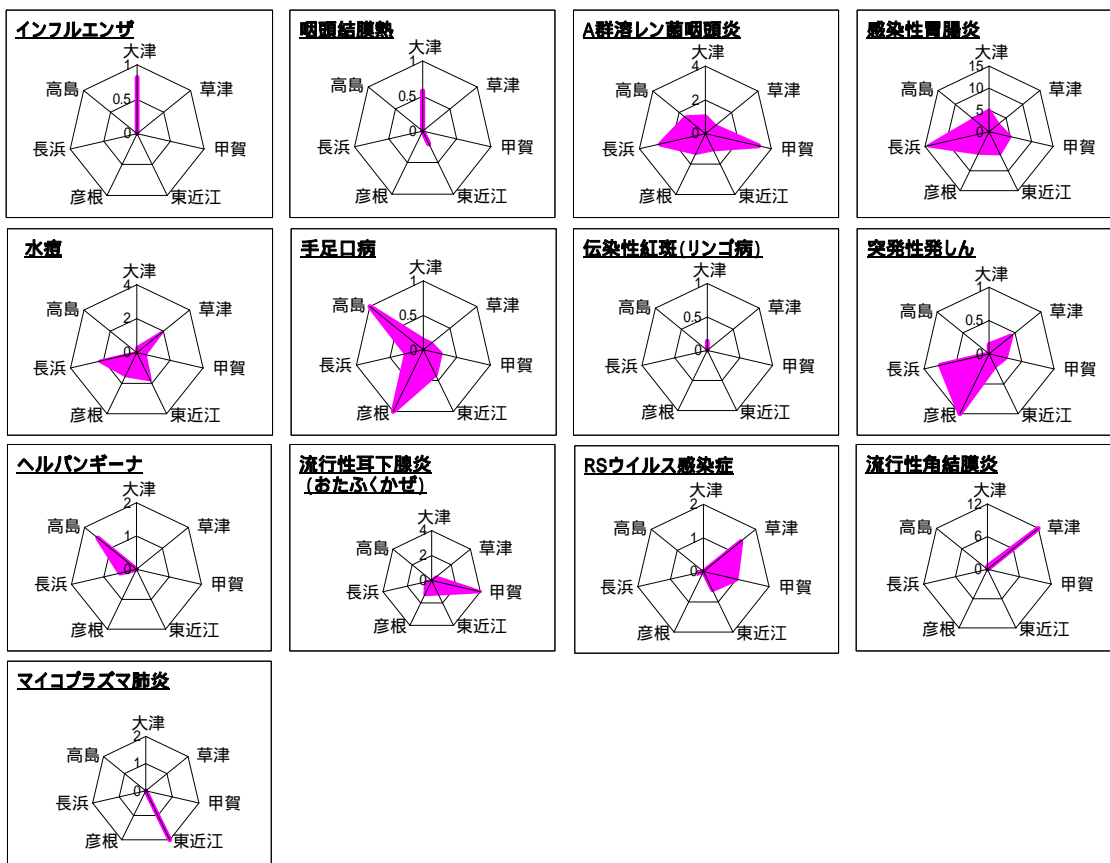
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	41週		42週		43週		44週		45週		46週	
	(10/6~)	(10/13~)	(10/20~)	(10/27~)	(11/3~)	(11/10~)	42	43	44	45	46	
インフルエンザ	0.07	0.06	0.07	0.07	0.07	0.17						
RSウイルス感染症	0.21	0.03	0.36	0.27	0.30	0.55						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.24	0.09	0.18	0.06	0.06	0.15						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.48	0.42	0.88	1.18	0.73	1.48						
感染性胃腸炎	4.70	3.55	4.76	4.55	4.88	5.76						
水痘	0.52	0.76	0.52	1.15	0.52	1.24						
手足口病	0.73	0.39	0.18	0.27	0.42	0.36						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0.06	0	0.03	0.03						
突発性発しん	0.39	0.30	0.21	0.24	0.06	0.39						
百日咳	0	0.03	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	0.36	0.18	0.09	0.15	0.03	0.15						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.70	1.06	1.18	1.03	0.94	0.97						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.25	0	0.13	0.38	0.38	1.63						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0						
マイコプラズマ肺炎	0.43	0.14	0.14	0.29	0.29	0.29						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第46週、11/10～11/16)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.17	0.82	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0.55	0	1.43	1.00	0.60	0	0.25	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.15	0.57	0	0	0.20	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.48	1.00	0.71	3.25	1.00	1.25	2.75	1.50	
感染性胃腸炎	5.76	5.00	2.71	5.00	5.60	5.50	14.25	4.50	
水痘	1.24	0.29	1.86	0.50	1.80	1.50	2.25	0	
手足口病	0.36	0.14	0.14	0.25	0.40	1.00	0.25	1.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.39	0.14	0.43	0.25	0.20	1.00	0.75	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.15	0	0	0	0	0	0.50	1.50	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.97	0	0.43	4.00	1.20	1.25	0.50	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	1.63	0.50	12.00	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0	2.00	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

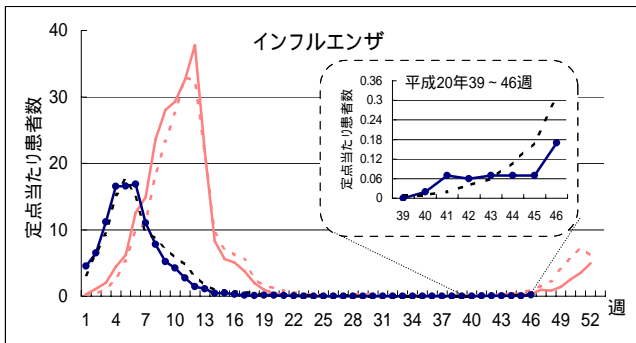
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



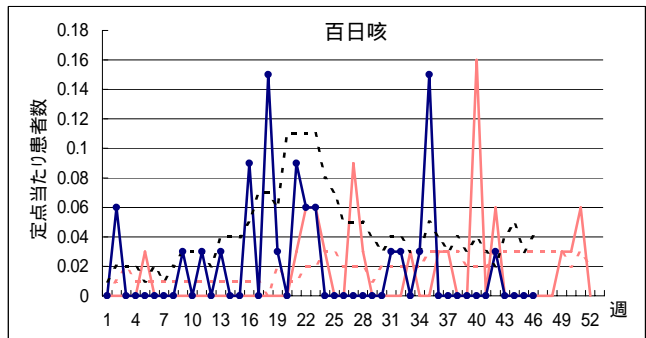
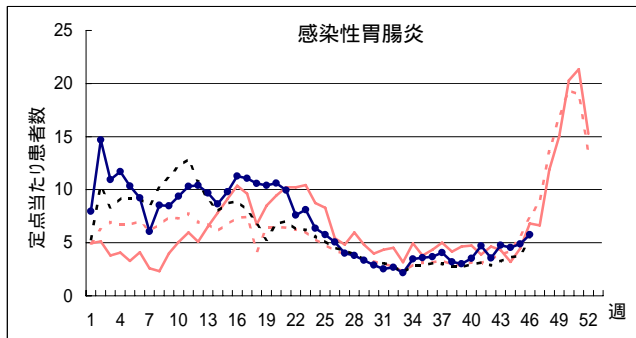
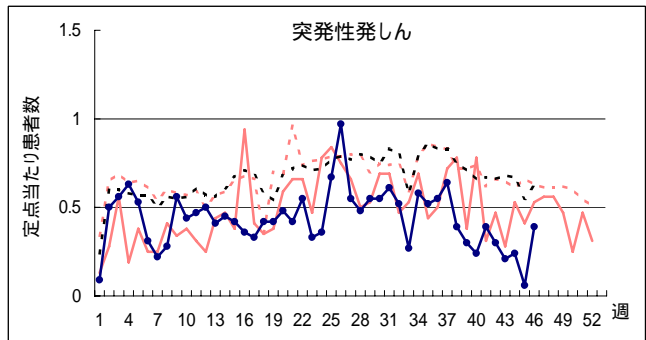
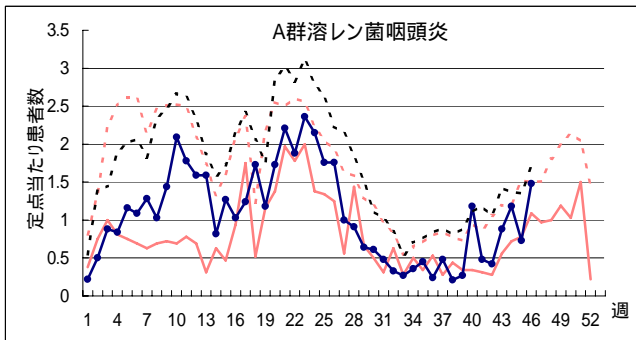
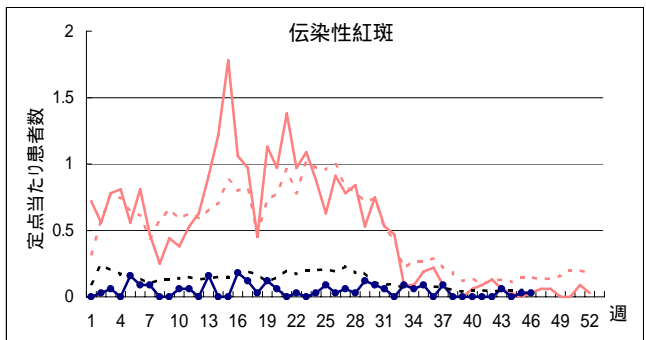
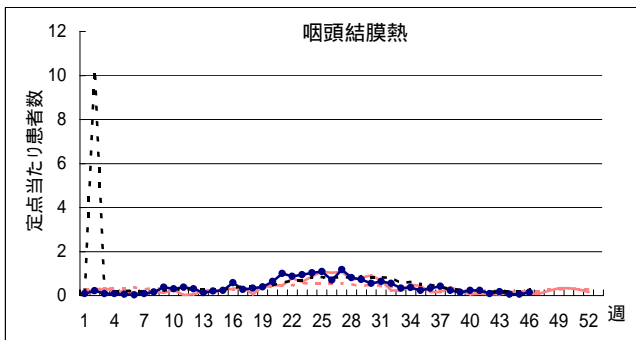
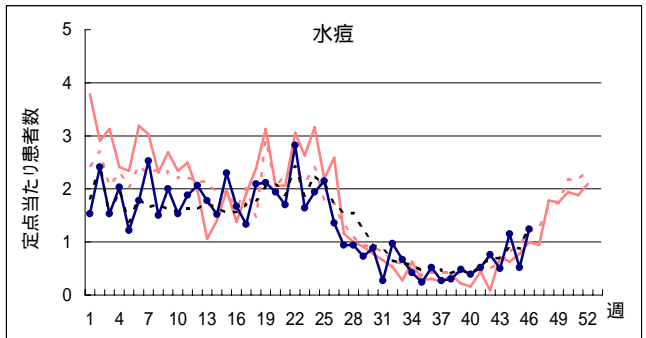
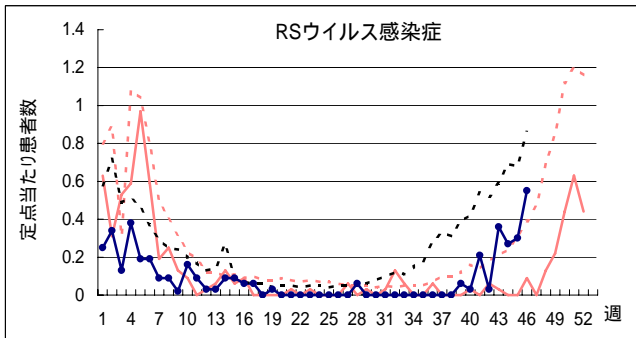
今週の発生状況:

- インフルエンザ-----大津からの報告がやや多くなっています。
- A群溶レン菌咽頭炎----ほとんどの保健所管内で先週より増加し、特に甲賀の定点当たり患者数は3.25と多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----県全体では先週より増加しています。特に長浜では先週よりさらに増加し、定点当たり患者数は14.25と多くなっています。
- RSウイルス感染症-----草津からの報告が多くなっています。
- 流行性角結膜炎-----草津で急増し、60歳代からの報告が多くなっています。

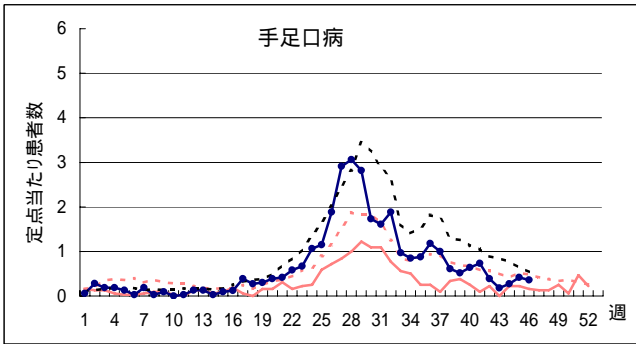
疾病別定点当たり患者数(平成20年第46週、H19.12.31～H20.11.16)



H19 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H20 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第46週、H19.12.31～H20.11.16)



H19 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H20 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dotted blue line)

